普　及　現　地　情　報
令　和　８　年　11　月　４　日
久慈農業改良普及センター
執　筆　者　　東　海　林　豊

《久慈》地元高校生たちが農業現場の視察と体験を通じて農業の楽しさを体感

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、令和８年度久慈地域農業現場視察研修会を 10 月 26 日に開催しました。これは、久慈翔北高校環境緑化系列専攻の高校２年生と農業に関心のある一般の方を対象に行ったものです。

当日は高校生５名と一般の方９名が参加しました。内容はミニトマト生産の現場視察、ブロッコリー生産の現場視察と収穫作業体験です。

ミニトマトの生産現場では、うぃず One（JA 全農式トロ箱養液栽培システム）を活用したミニトマト生産の取り組みに加え、短角牛部会への籾米サイレージ提供による耕畜連携の取り組み状況などもお聞きしました。

ブロッコリーの生産現場では、就農時の苦労や規模拡大した経緯、地域人材の活用による地域活性化の取り組みなどを学んだほか、ブロッコリーの収穫を体験しました。

高校生から「農業でのやりがいは」と質問があり、ほ場主の方は「収穫物を食べるとき、みんなが食べてくれていると感じるとき、やりがいを感じる。」と答えていました。

一般の方からのアンケートでは、８名が今後、農業経営に取組みたいもしくは農業法人で働きたいとの回答があり、今後の農業振興につながる結果となりました。



（ミニトマトの生産現場視察）


（ブロッコリーの収穫作業体験）